

都市環境科の進路先

就職(県内)

株式会社 鹿内組 : 道路、橋等工事の監督
株式会社 大坂組 : 道路、橋等工事の監督
株式会社 西田組 : 道路、橋等工事の監督
志田内海 株式会社 : 道路、橋等工事の監督
木村建設 株式会社 : 道路、橋等工事の監督
株式会社 青洋建設 : 港湾、道路等工事の監督
豊産管理 株式会社 : 下水道工事の監督
株式会社 アオケン : 道路工事の監督
株式会社 サワケン : 土木工事の監督
株式会社 大樹設備工業 : 空調設備工事の監督
アークコンサルタント 株式会社 : 工事前の測量設計業務
株式会社 測地コンサルシステム : 工事前の測量設計業務
富士見総業 株式会社 : ガソリンスタンドスタッフ

就職(県外)

東北電力 株式会社 : 電力施設工事の監督
東北発電工業 株式会社 : 電力施設工事の監督
東京水道サービス 株式会社 : 水道施設工事の監督
東日本高速道路 株式会社 : 高速道路工事の監督
株式会社 佐藤渡辺 : 道路工事の監督
大成ロテック 株式会社 : 道路工事の監督
株式会社 竹中道路 : 道路工事の監督
三井住建道路 株式会社 : 道路工事の監督
フジタ道路 株式会社 : 道路工事の監督
日舗建設 株式会社 : 道路工事の監督
東日本旅客鉄道 株式会社 : JR東日本の線路工事の監督
北海道旅客鉄道 株式会社 : JR北海道の線路工事の監督
首都圏新都市鉄道 株式会社 : つくばエクスプレス線路工事の監督
東京地下鉄 株式会社 : 東京メトロ線路工事の監督
仙建工業 株式会社 : JR東日本の線路工事の監督
ユニオン建設 株式会社 : JR東日本の線路工事の監督
株式会社 不動テトラ : 土木施設工事の監督
株式会社 浅沼組 : 土木施設工事の監督
国土開発工業 株式会社 : 土木施設工事の監督
小野田ケミコ 株式会社 : 地盤改良工事の監督
エクシオインフラ 株式会社 : 電線埋設工事の監督
南海辰村建設 株式会社 : 南海電鉄線路の工事
株式会社 松下産業 : マンション等基礎工事の監督
東建工営 株式会社 : 工事前の測量設計業務
みちのくコンサルタント 株式会社 : 工事前の測量設計業務
株式会社 協和 : 住宅工事スタッフ
株式会社 にしけい : 警備スタッフ

進学

大学

千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科
金沢工業大学 環境建築学部 環境土木工学科
東北工業大学 工学部 都市マネジメント工学科
日本大学 生産工学部 土木工学科
日本大学 工学部 土木工学科
八戸工業大学 工学部 土木建築工学科
立正大学 地球環境科学部 地理学科
東北学院大学 工学部 環境建設工学科

各種専門学校

青森技術専門学校 環境土木工学科
中央工学院 土木・測量・造園系学科
東北文化学園大学 科学技術学部 建築環境学科
東日本航空専門学校 空港エンジニア科

公務員

青森県庁 土木職 : 青森県内の都市づくり
青森市役所 土木職 : 青森市内の都市づくり
国土交通省 東北地方整備局 : 道路・河川・ダムなどの整備
平内町消防署 : 建物の消火や人命救助
陸上自衛隊 一般曹候補生 : 国の防衛活動や救助活動

卒業生のコエ

平成28年度卒 木村 航さん

【青森市役所 勤務】

普通高校では学べない道路・橋・河川などの専門分野を学び、現在、市役所職員として主に下水道関係の職務に携わり、人々の生活を支えています。



平成29年度卒 田村 玲美さん

【(株)大坂組 勤務】

勤務して2年が経ちます。今は市内の現場周りや除排雪管理などの仕事を担当し、女性土木技術者として、会社に、そして地域の方々に貢献しています。



平成30年度卒 小笠原 蒼弥さん

【千葉工業大学 在学】

3年間、実習や座学を通じ、専門知識をたくさん学びました。今は将来の目標である教員になるために、日々勉学に励み、楽しい大学生活を過ごしています。



Aomori Technical High School

青森県立青森工業高等学校

都市環境科

Urban Environment

人々の暮らしを見つめ、未来の都市を創り出す。

そんな、技術者になれる学科がここにある。



都市環境科で地球の未来を創る

地球のアーティスト

都市環境科は英語で“Urban Environment”(環境に配慮した土木技術)。

都市環境科では安全・安心、

そして環境に配慮した都市づくりを創造できる土木技術者を育てています。

都市環境科の4つの役割

役割

01 まちを“つくる”

大都市から始めたインフラ整備は都会の人々の暮らしを豊かにしましたが、地方のインフラ整備はまだ遅れています。地方の人々が望むインフラを整備し、風土や景観に合ったまちづくりを進めること、そして震災からまちを復興することが、いま土木に求められています。



青森市街(上空)

※インフラとは、道路、鉄道、港湾、空港、上下水道、トンネルなどといった社会の基盤となる設備

役割

02 インフラを“たもつ”

我が国のインフラの多くは、高度経済成長期に造られました。今後、人間社会と同じようにインフラの高齢化・老朽化が進むと、橋梁で生じたような崩落事故が起こる恐れがあります。インフラに対しても、人と同じように専門のドクターが病気を治す「医療行為」が必要になります。



青森ベイブリッジ

役割

03 環境を“まもる”

土木では自然を取り戻したり、環境をより良いものにするための取り組みを進めています。たとえば湖や川などの水質改善、失われた干潟や自然河岸などの生態系の修復、生ごみなどの有機廃棄物からのエネルギー回収技術の開発などです。環境保全と修復もまた、土木の大事な役割です。



野内川 河口

役割

04 災害を“ふせぐ”

地震や津波、気候変動に伴う集中豪雨・豪雪による災害を防ぎ、人々の暮らしを守ることも土木の重要な役割です。将来起こりうる地震や津波、豪雨・豪雪の規模を想定し、構造物を安全に設計したり、橋を補強する、住民に防災教育を行うなど、防災における土木工学の役割はとても大きいのです。



国道4号線

都市環境科の2つの特長

特長

01 7年連続就職率100%達成

都市環境科の就職率は、開設当初から100%と高い水準を誇ってきました。就職先も公務員(国土交通省、青森県庁他)、一般企業では鉄道系のJR東日本、道路系のネクスコ東日本、市内建設業の(株)鹿内組、(株)大坂組等と多彩であり、これは都市環境科の最大の特徴とも言えます。まちづくり、インフラ整備、環境保全、防災、復興など、社会が今最も必要とする技術者だから、卒業後に活躍できる分野も幅広く、やりがいがあります。



特長

02 学科独特の実践的教育

生徒と教員のふれあいを通じた丁寧な授業、実務を想定した実験・実習を取り入れ、豊かな人間性を有する実践的技術者の養成を目指す教育を進めています。その結果、在学時で国家資格である2級土木施工管理技術検定(学科試験)や測量士補の資格を取得するなどの成果につながっています。また、高校入学後の学習を円滑に進められるよう、土木の基礎として特に重要となる「測量学」と「力学」について、都市環境科独自の教育を実施しています。



都市環境科での専門学習

1年

土木の役割や基礎力を学ぶ



工業技術基礎



情報技術基礎

測量実習など、教室を飛びだして行うフィールド実習も都市環境科ならではの学びの特徴のひとつ。グループで協力しながら作業を行います。



測量

2年

実験実習による実践的な学習



実習(CAD)



環境工学基礎



土木施工

橋や道路、建物など社会基盤を支える構造物や水資源や河川、地盤など環境保全に関することを実験・実習を通して学びます。

3年

地域に貢献できる研究学習



実習(水理)



製図



課題研究

社会と密接に関わる都市環境科だからこそ、課題研究も身近な環境保全や地域防災など、実際に地域のために役立つ研究に携わることができます。

校外

各種コンテストや大会に挑戦

高校生「橋梁模型」作品発表会

2013年:優秀賞 2017年:努力賞
2014年:優秀賞 2018年:努力賞
2015年:優秀賞 2019年:出品
2016年:優秀賞



優秀賞作品「木曽の大橋」

高校生ものづくりコンテスト「測量部門」青森県大会

2012年:2位 2016年:3位
2013年:2位 2017年:3位
2014年:3位 2018年:3位
2015年:3位 2019年:1位
(東北大会出場)



2019年「東北大会 5位」

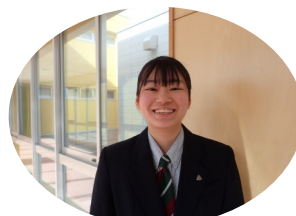
在校生のこえ

人や社会の役に立つ土木技術者になる

基礎を大切に、社会で役立つことが実践的に学べる都市環境科。学びの魅力と広がる可能性を在校生が紹介します。

1年 佐藤 地球さん (甲田中出身)

建設業に興味・関心があり、都市環境科に入りました。測量実習などの専門科目は、想像以上に面白いです。親身な先生ばかりなので、何の教科でも安心して学べます。



2年 星野 樹さん (東中出身)

インフラ整備に携わることで、地元に貢献することができると考え土木の道へ。水理や土質、施工など、土木の幅広い分野の知識をしっかりと身につけたいと思っています。



3年 山内 雅季さん (横内中出身)

将来の夢は、現場監督になって地図に記されるような仕事をする。都市環境科は、授業内容や施設が充実しているところが魅力です。大学進学と資格取得が目標です。

